

# 審査員が一読して理解できる 申請書とは?!

2023/03/03 特別研究員 学内説明会

URA 篠谷・冠野・丸野

# 本日本話すること

- 審査は短時間で行われる
- バックキャストで考える
- 申請書と論文は違う
- ポイント紹介
- まとめ



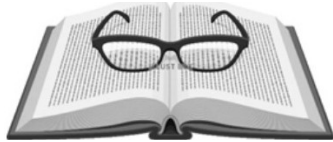
一読して理解できる申請書

審査は短時間で  
行われる

# 審査員は6人

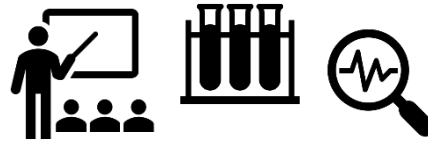
分野のエキスパート

40代～60代の研究者



他にも業務を抱えた  
多忙な…

授業・研究・雑務..



違う専門の可能性大

関連分野だが、  
自分の研究とは  
かなり違う専門の可能性大

申請書のみで審査される



# 審査にかけられる時間は30分～60分

一週間で

**50～100**件

捌く

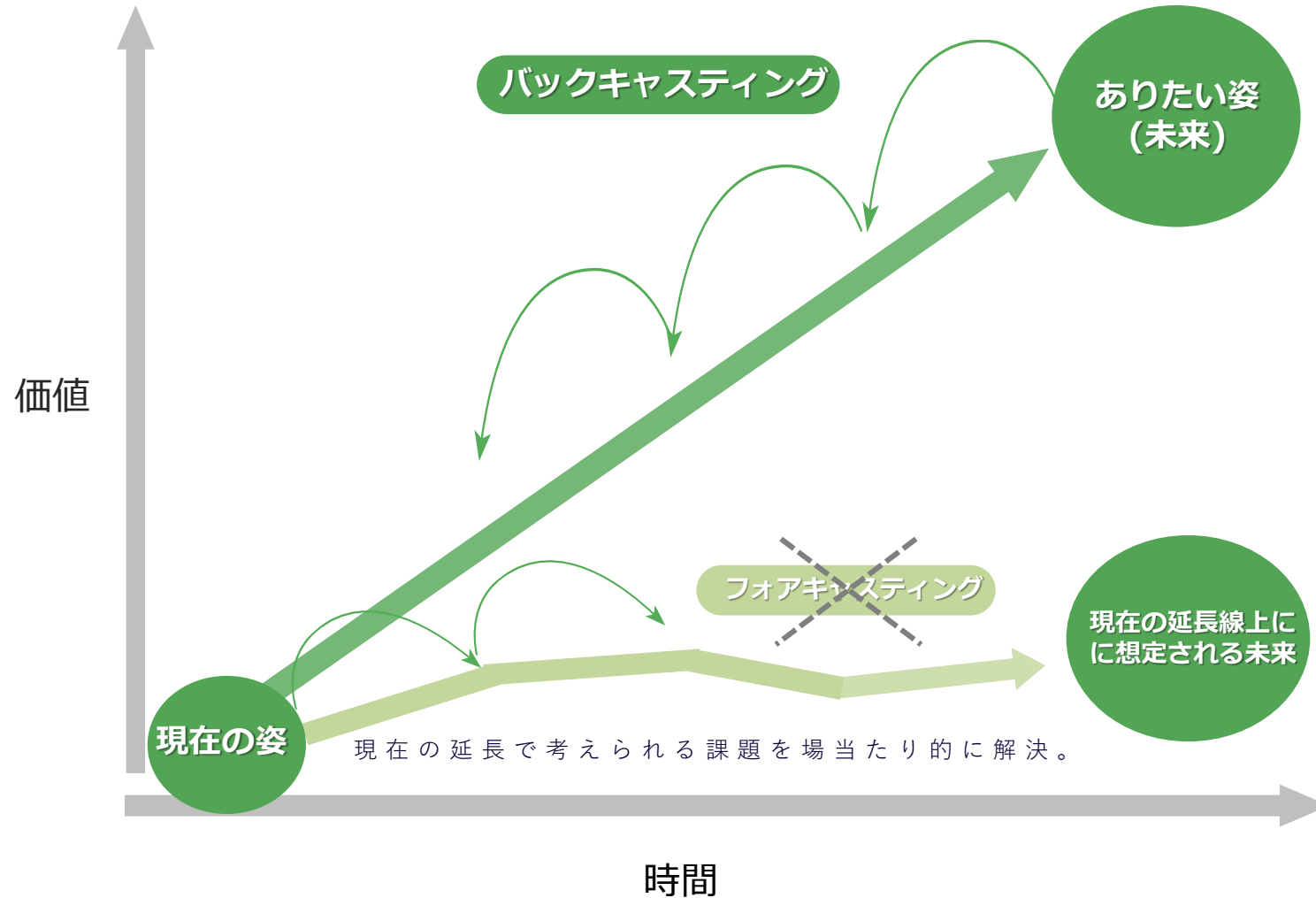


一読して理解できる申請書が必要！

バックキャストで考える

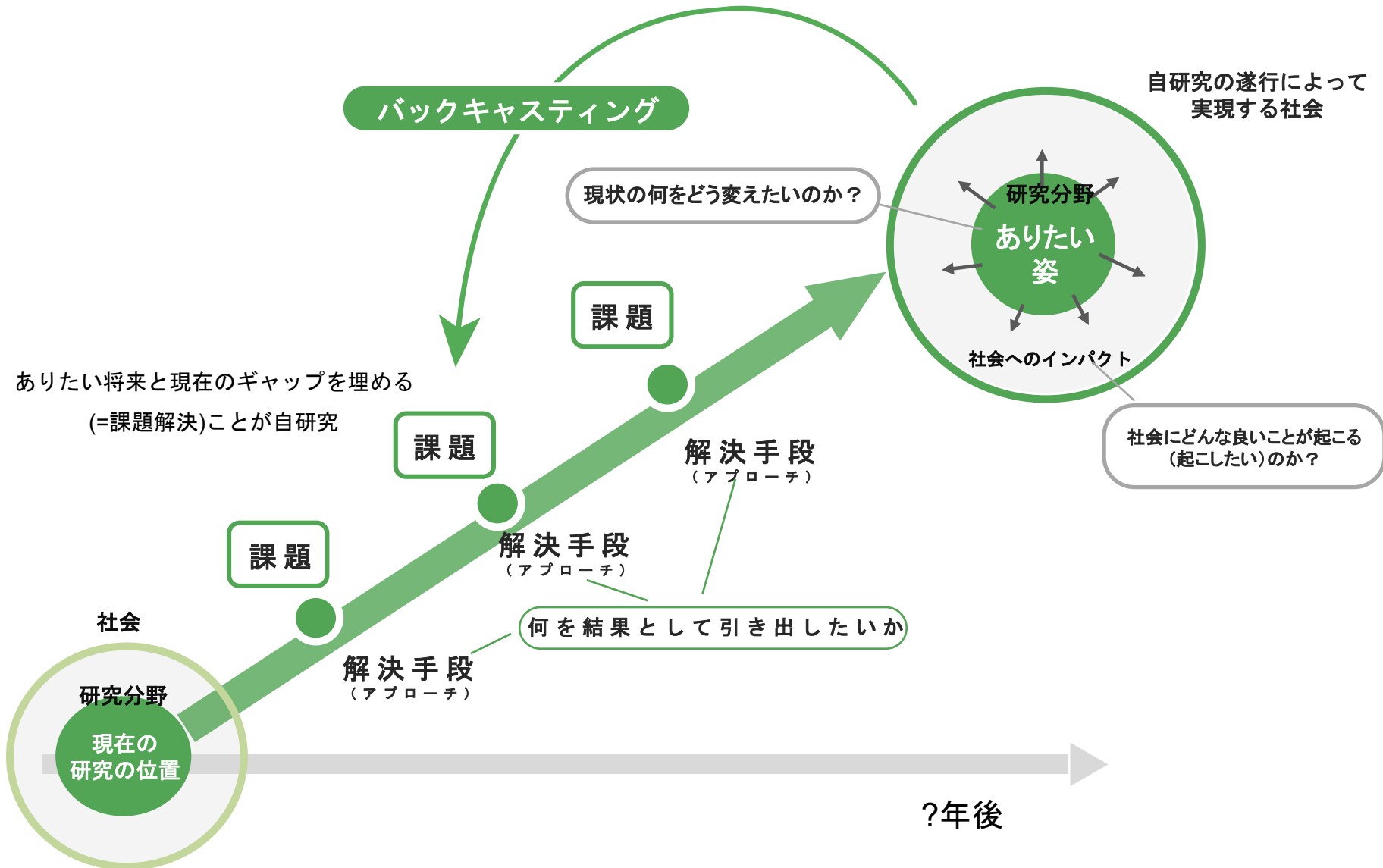
# バックキャスト

ありたい姿から考える。



# バックキャストイング

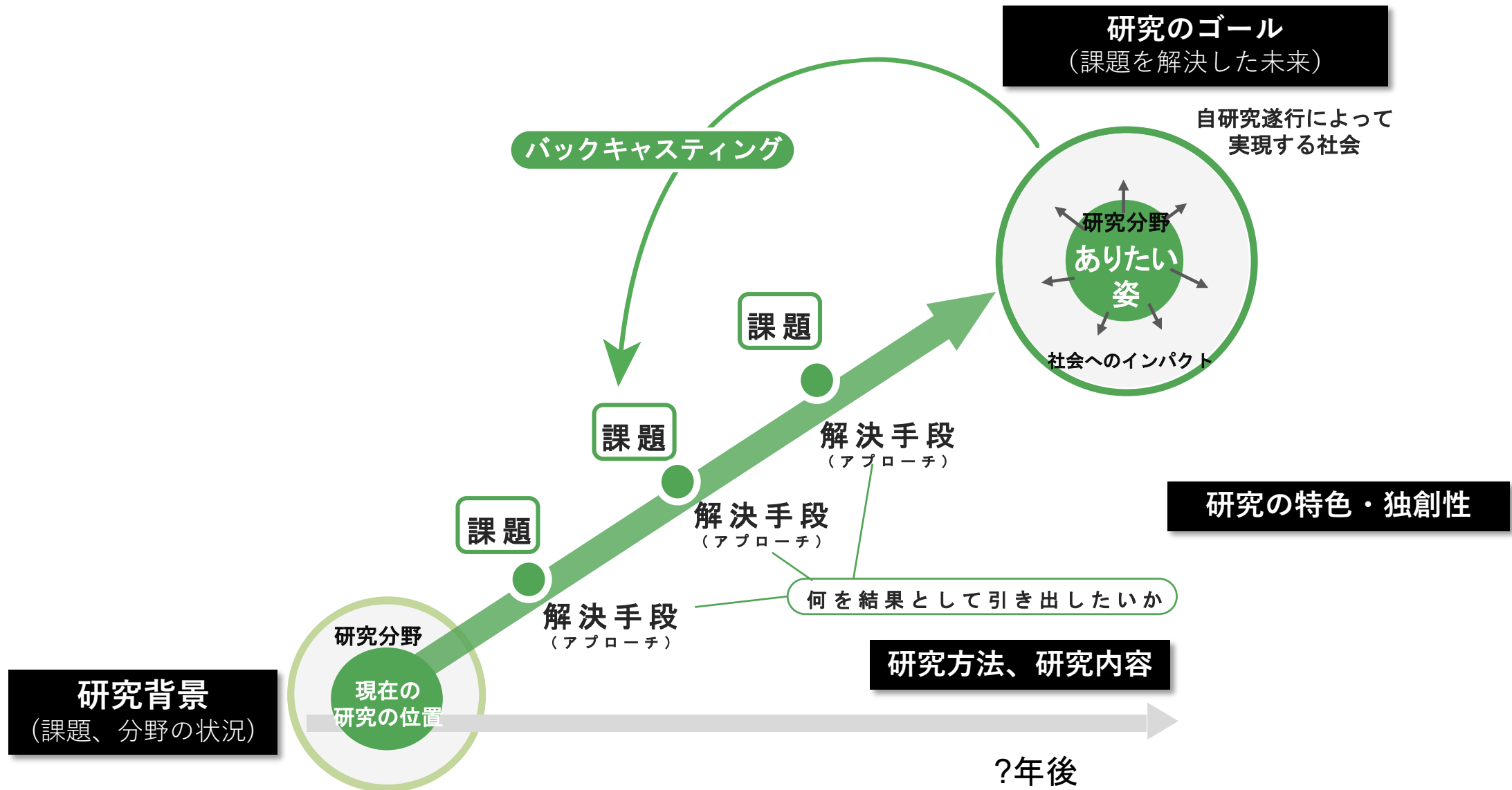
ありたい姿から考える。





# バックキャストイング

ありたい姿から考える。



申請書と論文は違う

# 申請書と論文は違う！

## 申請書は

「未来の研究計画に、  
お金をください！」  
と、スポンサーに  
提案するもの

## 論文は

「こんなことが分かりました  
(発見しました、解明しましたetc.)」  
と、業界に報告するもの

読み手が違う、目的が違う

# 申請書は、読み手（スポンサー）に読んでもらえてナンボ

読む気にならない  
書類は論外

読みやすさ、分かりやすさ  
が大切

お金を出そうと  
財布を開いてもらえるか

オモロイ、わくわく、意義がある、  
価値がある、社会が良くなる etc.  
と感じさせられるか

見やすく・読みやすく・分かりやすい申請書に

# スポンサーが求めていること(=申請書に書くべきこと)は、 公募要領や書式に書いてある

## 【制度の趣旨等】

優れた若手研究者に、その研究生生活の初期において、自由な発想のもとに主体的に研究課題等を選びながら研究に専念する機会を与えることは、我が国の学術研究の将来を担う創造性に富んだ研究者を育成する上で極めて重要なことです。

このため、独立行政法人日本学術振興会(以下「本会」という。)は、我が国の大学院博士課程在学者で、優れた研究能力を有し、当該大学で研究に専念することを希望する者を「特別研究員-DC」に採用し、支援を実施します。

また、特別研究員-DCが行う研究に対しては、「科学研究費助成事業(特別研究員奨励費)」による助成を行います。

## (1) 選考

各申請について、申請者が選択した審査区分に基づいて、本会の特別研究員等審査会の審査委員(6名)が二段階にわたり書面による審査を実施する「二段階の書面審査」方式により選考を行います。選考の詳細については、本会「特別研究員」ホームページ上の「選考方法」の項目を参照してください。

・特別研究員ホームページ選考方法 URL [https://www.jsps.go.jp/j-pd/pd\\_houhou.html](https://www.jsps.go.jp/j-pd/pd_houhou.html)

主要な審査方針は、以下のとおりです。

### 〔審査方針〕

特別研究員-DC 1、特別研究員-DC 2

- ① 自身の研究課題設定に至る背景が示されており、かつその着想が優れていること。また、研究の方法にオリジナリティがあり、自身の研究課題の今後の展望が示されていること。
- ② 学術の将来を担う優れた研究者となることが十分期待できること。

- ① 10ポイント以上の文字で記入してください。注釈等の記載も同様です。なお、フォントの種類、行間の高さ等、それ以外の設定に関する規定はありません。
- ② **日本語又は英語**で記入してください。
- ③ 様式中の斜体で記した説明文及び応募区分に応じた研究計画のイメージ図の文章については削除してください。それ以外の指示書きについて削除することや、指定されたもの以外の項目を付け加えること、及び記入しない項目の省略等、**様式の加工・変更はできません。適宜、図表等を記載することは差し支えありません。**
- ④ 各項目で定められたページ数を超えること、及び所定の様式以外に新たに用紙を加えることはできません。なお、各項目の指示に沿って作成をした結果、空白のページが生じることは構いませんが、空白のページを削除することはできません。
- ⑤ 様式下部の「登録名」欄に「申請書情報」において入力した「登録名」を自身で記入してください。
- ⑥ 申請内容ファイルを含む申請書一式はモノクロ(グレースケール)印刷を行い審査委員に送付するため、印刷した際に内容が不鮮明とならないよう留意してください。
- ⑦ 申請内容ファイルのPDF化及びアップロードは以下のURLに示す推奨手順に則って行ってください。  
推奨手順: [https://www.jsps.go.jp/j-pd/data/boshu/naiyo\\_torikomi.pdf](https://www.jsps.go.jp/j-pd/data/boshu/naiyo_torikomi.pdf)

## 1 2. 申請書類及び選考についての注意事項

- (1) 申請内容ファイルは、本会所定の様式を使用してください。様式の変更、所定様式以外の用紙の追加、指定書類以外の登録は認められません。
- (2) 申請機関により提出(送信)が行われた申請書類については、本会への提出(送信)期限後にその記載事項を変更し、又は補充等を行うことはできません。  
また、申請書記載事項については採用後の証明書等に反映されるため、受入研究者の所属、役職等を含め所属機関に確認し、正確に記入してください。
- (3) 申請は1人1件とします。なお、2件以上申請した場合、全ての申請が無効となります。
- (4) 申請書類に虚偽が発見された場合は、採用後であっても採用開始時に遡って特別研究員の資格を喪失させ採用を終了することがあります。
- (5) 審査結果は令和6(2024)年度採用分にのみ有効です。

求められていることを、指示されたかたちで書く

# 学振申請書式(申請内容ファイル)の「記載指示」

(DC 申請内容ファイル)

**2. 【研究計画】** 適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。なお、本項目は1頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

## (1) 研究の位置づけ

特別研究員として取り組む研究の位置づけについて、当該分野の状況や課題等の背景、並びに本研究計画の着想に至った経緯も含めて記入してください。

**【研究計画】(続き)** 適宜概念図を用いるなどして、わかりやすく記入してください。なお、各事項の字数制限はありませんが、全体で2頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。

## (2) 研究目的・内容等

- ① 特別研究員として取り組む研究計画における研究目的、研究方法、研究内容について記入してください。
- ② どのような計画で、何を、どこまで明らかにしようとするのか、特別研究員奨励費の応募区分(下記(※)参照)に応じて、具体的に記入してください。
- ③ 研究の特色・独創的な点(先行研究等との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し等)にも触れて記入してください。
- ④ 研究計画が所属研究室としての研究活動の一部と位置づけられる場合は申請者が担当する部分を明らかにしてください。
- ⑤ 研究計画の期間中に受入研究機関と異なる研究機関(外国の研究機関等を含む。)において研究に従事することも計画している場合は、具体的に記入してください。

(※) 特別研究員奨励費の研究期間が3年の場合の応募総額は(A区分)が240万円以下、(B区分)が240万円超450万円以下(DC1のみ)。2年の場合(A区分)が160万円以下、(B区分)が160万円超300万円以下。1年の場合(A区分)が80万円以下、(B区分)が80万円超150万円以下。(B区分については研究計画上必要な場合のみ記入)

この指示で、どう書けばよいか分かる？

学振申請書式の「記載指示」……



どこから書く??

申請書を書きだす前に

→ まず「自分の研究の骨子」を  
とりだすことをおすすめ!

# ポイント紹介



# 一読して理解できる申請書づくりのポイント

- 骨子を取り出す
- 骨子に肉付け（申請書のテキストへ）
- 他の人に見てもらい、質問してもらう
- 質問をゼロに近づける

Point!



# 一読して理解できる申請書づくりのポイント

- 骨子を取り出す
- 骨子に肉付け（申請書のテキストへ）
- 他の人に見てもらい、質問してもらう
- 質問をゼロに近づける

Point!



# 骨子を取り出す

## URA作成「骨子シート」

記載指示事項（必ず書くべきこと）  
を漏らさず書くため

骨子のかたちで、申請内容の構成  
をしっかりさせるため

「研究の骨子」をとりだすシート【24 学振申請書用】2023 研大 URA

**【研究の位置づけ】 研究の背景(課題、分野の状況)**  
・私の研究テーマを社会的に考えると、  
\_\_\_\_\_ 課題がある。  
\_\_\_\_\_ 現状である。  
・私の研究分野は、  
\_\_\_\_\_ 現状である。  
・私の研究の前後左右(分野の先行研究・関連研究)には、  
\_\_\_\_\_ がある。  
\_\_\_\_\_ 一文獻は、\_\_\_\_\_ などがある。  
・これまでの研究(自分の研究も含めた先行研究)で、  
\_\_\_\_\_ は、明らかになっているが、  
\_\_\_\_\_ は、不明である・未解決である。  
・ここから、今回の研究で私が解明したいこと(既に取り組むべき課題・解決したい課題)は、  
\_\_\_\_\_ である。

**【研究の位置づけ】 着想の経緯**  
・この研究をしよう(この課題に取り組もう)と思ったきっかけ(理由)は、  
\_\_\_\_\_ である。  
\_\_\_\_\_ 一そこから、ここまで、  
\_\_\_\_\_ をしてきて、  
\_\_\_\_\_ を、明らかにしたいと思った。

**【研究計画】 ①研究目的、研究方法、研究内容 【+概念図】**  
・今回の研究は、  
\_\_\_\_\_ を目的とする。  
・目的を達成するために、解決すべき課題(取り組む研究項目)は、  
課題(1): \_\_\_\_\_ を解明すること=研究項目(1)  
課題(2): \_\_\_\_\_ を解明すること=研究項目(2)  
課題(3): \_\_\_\_\_ を解明すること=研究項目(3)  
課題(4): \_\_\_\_\_ を解明すること=研究項目(4)

- 1 -

「研究の骨子」をとりだすシート【24 学振申請書用】2023 研大 URA

**【研究計画】 ②どのような計画で、何を、どこまで明らかにするのか、具体的に**  
・研究方法(課題解決の手段)と研究内容  
研究項目(1)は、\_\_\_\_\_ 手段 \_\_\_\_\_ で、  
\_\_\_\_\_ 一こんなこと \_\_\_\_\_ を行う。  
研究項目(2)は、\_\_\_\_\_ 手段 \_\_\_\_\_ で、  
\_\_\_\_\_ 一こんなこと \_\_\_\_\_ を行う。  
研究項目(3)は、\_\_\_\_\_ 手段 \_\_\_\_\_ で、  
\_\_\_\_\_ 一こんなこと \_\_\_\_\_ を行う。  
研究項目(4)は、\_\_\_\_\_ 手段 \_\_\_\_\_ で、  
\_\_\_\_\_ 一こんなこと \_\_\_\_\_ を行う。

(スケジュール…いつ、何をするか)

	採用前	1年目	2年目
研究項目(1)			
研究項目(2)			
研究項目(3)			
研究項目(4)			

**【研究計画】 ③特色・独創的な点(先行研究との比較、本研究の完成時に予想されるインパクト、将来の見通し)**  
・私の研究のウリ(オリジナリティ、他の研究との違い、私が考えた工夫・アイデア)をあげると、  
1. \_\_\_\_\_  
2. \_\_\_\_\_  
3. \_\_\_\_\_  
・先行研究と比べると、私の研究は、  
\_\_\_\_\_ がスゴイ。  
(今まで行われていない・これまでなかった発想である)  
・今回の研究が完成したら、  
\_\_\_\_\_ 一分野に対して、  
\_\_\_\_\_ 貢献ができる。  
\_\_\_\_\_ 一社会に対して、  
\_\_\_\_\_ インパクトがある。  
\_\_\_\_\_ 一将来は、さらに、  
\_\_\_\_\_ ことにもつながりそう。

研究のゴール

- 2 -

# 骨子シート の書き方

## (1) まず書くところ

### 研究の背景

【研究の位置づけ】研究の背景(課題、分野の状況)

- 私の研究テーマを社会的に考えると、  
 \_\_\_\_\_ 課題がある。
- 私の研究分野は、  
 \_\_\_\_\_ 現状である。
- 私の研究の前後左右(分野の先行研究・関連研究)には、  
 \_\_\_\_\_ がある。
- 文献は、 \_\_\_\_\_ などがある。
- これまでの研究(自分の研究も含めた先行研究)で、  
 \_\_\_\_\_ は、明らか・分かっているが、  
 \_\_\_\_\_ は、不明である・未解決である。

→ここから、今回の研究で私が解明したいこと(取り組むべき課題・解決したい問題)は、  
 \_\_\_\_\_ である。

どんな課題があるのか

このスクリーンショットは、研究背景の記入欄の一部を示しています。青い枠で強調されているのは、研究の位置づけ、研究分野の現状、先行研究の状況、および文献のリストアップ部分です。

このスクリーンショットは、研究のゴールの記入欄の一部を示しています。青い枠で強調されているのは、研究の完成後、分野、社会、将来に対する貢献やインパクト、および将来の展望に関する部分です。

バックキャスティング  
(ありがたい姿から考える)

### 研究のゴール (課題を解決した未来)

- 今回の研究が完成したら、
- 分野に対して、  
 \_\_\_\_\_ 貢献ができる。
- 社会に対して、  
 \_\_\_\_\_ インパクトがある。
- 将来は、さらに、  
 \_\_\_\_\_ ことにもつながりそう。

研究のゴール

- 2 -

将来の見通し

# 骨子シート の書き方

## (2) 次に書くところ

### 着想の経緯

#### 【研究の位置づけ】 着想の経緯

・この研究をしよう(この課題に取り組もう)と思ったきっかけ(理由)は、

\_\_\_\_\_である。

→そこから、ここまで、

こんなこと \_\_\_\_\_をしてきて、

\_\_\_\_\_を、明らかにしたいと思った。  
!

なぜこのテーマに取り組もうと思ったか

The image shows a thumbnail of a research proposal form. The form has several sections with labels in Japanese. A blue rectangular box highlights the section titled '着想の経緯' (Origin of the Idea), which corresponds to the text on the main slide. The form includes fields for '研究の位置づけ' (Research Positioning), '研究の目的' (Research Objectives), and '研究の意義' (Significance of Research).

# 骨子シートの書き方

## (3) さいごに書くところ

### 研究目的、研究内容

【研究計画】①研究目的、研究方法、研究内容 【+概念図】

• 今回の研究は、

\_\_\_\_\_を目的とする。

• 目的を達成するために、解決すべき課題(取り組む研究項目)は、

課題(1): \_\_\_\_\_を解明すること=研究項目(1)

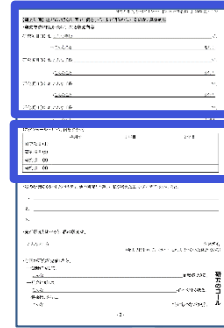
課題(2): \_\_\_\_\_を解明すること=研究項目(2)

課題(3): \_\_\_\_\_を解明すること=研究項目(3)

課題(4): \_\_\_\_\_を解明すること=研究項目(4)

めざすゴールに向けて、  
何を明らかにするのか

研究項目数は、  
研究内容によって  
異なる



### 研究方法、研究内容

【研究計画】②どのような計画で、何を、どこまで明らかにするのか、具体的に

• 研究方法(課題解決の手段)と研究内容

研究項目(1)は、こんな手段 \_\_\_\_\_で、

→こんなこと \_\_\_\_\_を行う。

研究項目(2)は、こんな手段 \_\_\_\_\_で、

→こんなこと \_\_\_\_\_を行う。

研究項目(3)は、こんな手段 \_\_\_\_\_で、

→こんなこと \_\_\_\_\_を行う。

研究項目(4)は、こんな手段 \_\_\_\_\_で、

→こんなこと \_\_\_\_\_を行う。

どうやって明らかにするのか

### スケジュール

(スケジュール…いつ、何をするか)

	採用前	1年目	2年目
研究項目(1)			
研究項目(2)			
研究項目(3)			
研究項目(4)			

いつ何をするのか

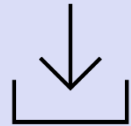
# 骨子シートのありか

ここにあります。

研究推進部HP > 若手研究者育成 > 日本学術振興会・特別研究員



download



# 一読して理解できる申請書づくりのポイント

- 骨子を取り出す
- 骨子に肉付け（申請書のテキストへ）
- 他の人に見てもらい、質問してもらう
- 質問をゼロに近づける

Point!





# 骨子に肉付け

(申請書を書く) ときのポイント

最初は

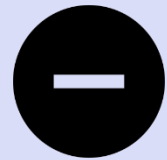
ページ制限を  
気にせず書く

○

- はみだしても構わない
- 書式に書かないほうがよい

# 骨子に肉付け

(申請書を書く) ときのポイント



引き算

いったん全体を書いてから

冗長な部分などを

**削ぎ落とし**としていく

# 一読して理解できる申請書づくりのポイント

- 骨子を取り出す
- 骨子に肉付け（申請書のテキストへ）
- 他の人に見てもらい、質問してもらう
- 質問をゼロに近づける

Point!



他の人に見てもらい、質問してもらおう

他の人に見てもらおう重要性

審査員は分野のエキスパートだが  
あなたの研究のことは全く知らない

前提知識は共有していない

他の人に見てもらい、質問してもらおう

他の人に見てもらおう重要性

初めての読者が  
どこで引っ掛かるかを知る

自分がよく分かっていることも、  
他の人には全く分からないことがある

# 他の人に見てもらい、質問してもらおう

## 他の人に見てもらおう重要性

自分がよく分かっていることも、  
他の人には全く分からないことがある

### 例：専門用語や略語は要注意

ゼミや専門学会など狭い範囲では通じてても、  
審査員はその用語や略語をたぶん知りません

他の人に見てもらい、質問してもらおう

誰に見てもらおう？

自分の研究のことをよく知らない人

他分野の  
友人知人

学部生の  
後輩

家族

## 他の人に見てもらい、質問してもらおう

申請書は、初稿でバッチリ！ということは、まずありません。

人に読んでもらい、  
分かりにくいところを質問してもらい、コメントをもらうことで、  
読み手に分かりやすくなるようブラッシュアップしていきます。

初稿は必ず他の人に見てもらいましょう



# 一読して理解できる申請書づくりのポイント

- 骨子を取り出す
- 骨子に肉付け（申請書のテキストへ）
- 他の人に見てもらい、質問してもらう
- 質問をゼロに近づける

Point!



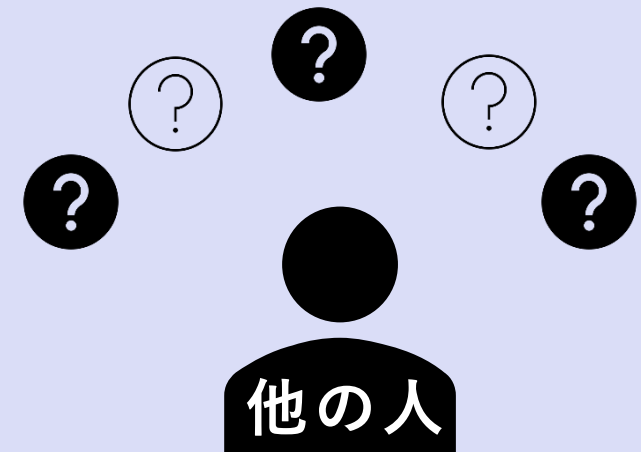
# 質問をゼロに近づける

初めての読者からの質問は、おそらく審査員も引っ掛かるところ

# 質問をゼロに近づける

「自分はよく分かっている」と「他の人は分からない」との  
ギャップを無くす

✓= これでOK!



# 質問をゼロに近づける

見やすい・読みやすい・分かりやすい文章へ

読み手のことを考える（どう説明すれば分かりやすいかを考える）

一文にはひとつのことを書く

要らないところを削って圧縮したほうが、伝えたい内容がはっきりすることが多い

適度な余白が大事（ぎゅうぎゅうに詰め込まない）

理解を助けない図は、要らない（理解を助けない図は、読み手を混乱させる）

# 質問をゼロに近づける

## 図を作る（かどうかも含めた）ステップ

- ① 分野外の誰か（研究者でなくても家族や友人など）に読んでもらい、分からないところを質問してもらう
- ② 質問の出たところが、パッと読んで伝わりづらい部分
- ③ テキストを修正するか or 図を挿入するか、どんな質問が出たかで対応を決める
- ④ 図を挿入する（作る）場合、まずは「実際に配置するサイズ」を決める
- ⑤ 決めたサイズにラフを手書き（→可能であれば、その図を使って誰かに説明してみる）
- ⑥ パワーポイントでデータ作成

# まとめ

# まとめ

## ● 審査は短時間で終わる

- 30～60分/件

## ● バックキャストで考える

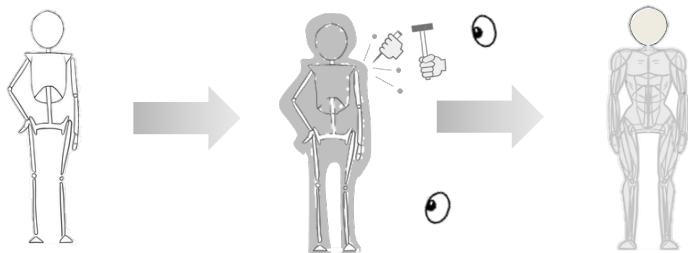
- ゴールからの逆算で考える

## ● 申請書と論文は違う

- スポンサーに提案するもの。
- 読みやすさ、分かりやすさ、財布を開かせる！が大切

## ● ポイント紹介

- 骨子→肉付け→削ぎ落とし→他人に見てもらう！でブラッシュアップ



一読して理解できる申請書